

第1回iPclass【東大専科】2科選抜入試 出題意図

大問1 漢字の読み書き。四字熟語、ことわざで使われる漢字を選択する。

大問2 國分功一郎『中動態から考える利他——責任と帰責性』

能動態と受動態についてイメージしたうえで、それとは異なる中動態という概念についての説明する文章。多くの受験生にとって初見の概念を、なんとかして読み取って、どれだけ考えられるかを出題の主眼とした。

問一、問四、問六：筆者が「中動態」に関心を持ったきっかけや、「能動態と中動態の対立」「尋問する言語」といった文章の核となる概念の定義を、本文の記述に即して理解できたかを問う。

問二、問三：「作者の死」や「責任」と「意志」の関係性について、筆者の論理構成の要点を的確に捉え、簡潔に説明・抽出する力を試す。表面的な読解ではなく、文脈におけるキーワードの役割を理解する必要がある。

問五、問七：具体例（ファイノマイ）の分析や空欄補充を通して、読解の正確さを測る。特に問五は、複数の意味が同居する中動態の複雑さを、消去法によって丁寧に見極めてほしい。

問八：ハンナ・アレントによる「意志」の定義を、本文の解説に基づいて正しく選択する問題。対比的に紹介される他者の思想を正確に読み分ける力を試す出題。

問九：文章全体の論旨と各選択肢の内容を照合し、筆者の主張と合致するか否かを判断できる読解力を問う。部分的な理解だけでは正答は導けないので、時間はかかるが精読してほしい。

問十：筆者の研究の方針を問う問題。文章全体を広く見渡し、筆者の問題意識の核心を捉える力を測る。

大問3 天川栄人「わたしは食べるのが下手」

他者への理解から自己理解（＝成長）へとつながる物語。登場人物の発言から真意を正確に読み取れるか、また登場人物の言動を含めた心情理解ができ、さらにそれを踏まえた中心人物の心情理解につながられたかを問う出題。

問一 文脈を把握しながら空所に適する表現、四字熟語を挿入する問題。

問二、問五 人物の心情を読み取り、説明する問題。

問三、問四 展開を読み取り適する表現を抜き出す問題。

問六 人物の心情を選択肢から選ぶ問題。